

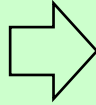
# 高収益作物収穫作業等の機械化により効率的な営農を実現 ～丸山 光氏〔池田町〕～

## 経営体の概要

事業実施前：平成20年

基幹作物：小麦、てんさい、豆類、ばれいしょ、  
スイートコーン、やまのいも（ながいも）

経営面積：25.5ha



事業実施後：令和4年

基幹作物：小麦、てんさい、豆類、ばれいしょ、  
やまのいも（つくねいも）、山わさび

経営面積：31.0ha

## 取組の経緯と経営転換のポイント等

本事業による排水改良により、これまで課題であった農地の湛水による生産性低下の解消と農作業の効率化が図られたことを契機に、小麦等の畑作物の作付けを拡大するとともに単収の増加も図られている。また、高収益作物として、つくねいも（やまのいも）を導入し、採種育成等の生産技術の確立にも努め、北海道内唯一の生産部会の設置がなされているなど、経営規模拡大を進めつつ、高い生産技術と効率的な営農が実現されている。

## 営農改善のポイント

### ①省力化

事業を契機に、通常品種のながいもから希少なつくねいもに変更したことから、これまでトレンチャーによる10人程度の収穫作業が堀上式ハーベスターとなり2～3人程度と大幅に軽減、植付作業も自動走行機械により作業時間が省力化した。また、てんさいにおいても直播栽培を拡大し省力化に努めている。

### ②栽培技術の確立・向上

つくねいもは、アブラムシが感染源のウイルス病により不安定な生産であったことから生産部会を結成しウイルスフリー苗を導入して、種イモの安定確保のため採種育成施設を建設し、1年目は原原種を施設で育て、2年目に露地栽培、3年目に農家へ種イモを配布し品質の高い種子を確保し生産拡大を図った。

### ③単収・品質の向上

湛水等による根腐れなどの作物被害が減少し、農作物の単収が向上した。

特に、てんさい、ばれいしょでは単収が6,500kg/10a、4,000kg/10aから7,900kg/10a、4,600kg/10aと大幅に増収した。



つくねいもの収穫



採種育成施設



てんさい収穫

## 事業概要

事業種：直轄明渠排水事業

関係市町：北海道中川郡池田町・本別町

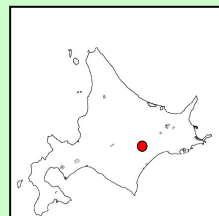
受益面積：1,014ha

事業期間：平成21年度～平成28年度

事業目的：排水改良

主要工事：排水機3箇所、排水路5条L=4.0km

## 位置図（北海道）



利別川左岸地区

## <問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業計画課 計画第1係

電話：011-709-2311

（内線5522）

（令和4年度調査時点）